

野瀬建築便り

輝くジュエリーアイス

しんと静まり返った空気と波音の中で、水平線が漆黒から青へ、青からオレンジ色に変わり、太陽の光が海岸を照らします。砂浜には打ち上げられた氷の数々。朝日を浴びて宝石のようにキラキラと輝き、幻想的な光景が広がります。

北海道十勝川の河口近く、豊頃町大津海岸の朝の光景です。近くを流れる十勝川で凍結した氷が太平洋に流れ出た後、時化や風向きの具合で、大津海岸に打ち上げられます。この現象は世界でも珍しく、宝石のような透明な輝きからジュエリーアイスと呼ばれ、人気を集めています。

氷の塊といえば流氷ですが、流氷は塩分を含んだ海水が凍るため、全体が白く、大きな塊となります。しかしジュエリーアイスは川の水が凍るため、透き通った氷の塊になるのです。透明度の高い十勝川の氷はより輝きを増し、きれいなジュ

エリーアイスになります。大きさも、大きな塊から小さな石のようなものまで様々です。川から一度海に出るので、波にもまれて角がとれ、丸みを帯びた氷となって大津海岸にたどりつきます。多い時には砂浜全体を覆いつくすほどの無数の氷の塊になり、極寒の1月中旬～2月下旬頃にしか見られない、氷の芸術です。

早朝は朝日に照らされてオレンジ色に輝き、荘厳な雰囲気。昼間は十勝ブルーの澄んだ青い空に染まり、夕方は茜色の空に映えるノスタルジックな輝きです。刻々と変わる氷の表情に、心を奪われます。この場所でしか出会えない氷の幻想的な世界。真冬の津海岸はマイナス10度～20度となり、見学には十分な装備が必要です。

極寒の砂浜で輝くジュエリーアイスのように、私達も強く素敵に輝けたらいいですね。

